

◇ 支えあい ひとりの心 みんなの力 ◇

江 高 連 だ よ り

れんたい！

第47号(通算59号) 平成25年3月15日発行



平成24年5月11日友愛活動員が友愛ナーシングホームで100名余りの入所者を慰問しました

江別市高齢者クラブ連合会

(この情報誌は、共同募金配分金により作られています)

超高齢社会における江高連の役割

江別市高齢者クラブ連合会 会長 小笠原 保

平成25年を迎え、会員の皆様にはお元気でお越しのことと思います。

漸く春めいてきましたが、今冬は、昨年12月中旬の初雪が根雪となり、その後は降雪と厳しい寒さが続き高齢者にとりましては日々除雪に精を出さねばならないなど身体に堪える日が続いたかと存じます。

さて、平成24年度も終りに近づきましたが、この間、各種行事等にご協力を承り誠に有難く厚くお礼申し上げる次第であります。

平成25年度も最終決定しておりませんが、昨年同様、大運動会、演芸大会を中心に各種行事が実行されて行きますが、江高連は、役員初め会員、各単会間同志の融和と親睦に寄与できれば何よりも嬉しいと考えているところです。

そもそも高齢者クラブは、地域を基盤とする高齢者の自主組織で、昭和38年8月施行の「老人福祉法」の老人クラブ活動等事業実施要綱等に基づき江別市が各クラブの運営費や江高連の各種事業に公的な補助を行い、高齢者の介護予防と相互の生活支援のためクラブ活動の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目指しているのです。

全国的に高齢者が漸増し、江別市も高齢化率(全人口に占める65歳以上の方々の割合)が24%を突破し、毎年1%位の速度で上昇するものと予測されています。そのような状況で進んでいる高齢化の波の中、私達クラブ会員が介護保険のお世話にならないよう日頃の活動を通して仲間を作り、終生、自助・自立の生活を目標に頑張ってくださいため江高連が64クラブの先頭に立ってその役割を担って行きたいと思えます。

会員のみなさんも自ら高齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して、常に心身の健康保持に努めるとともに今までの知識と経験を活用しながら社会活動に参加し、そしてお世話になる受動からお世話する能動へ転換することを期待するものであります。

「どれだけ長生きしたかではなく、どれだけ住みよい地域づくりのために自分の知恵や技を子どもたちや地域にお返しの活動をしたか、その時間の長さに価値がある」と言えると思えます。

これからの高齢者の使命として「モノ、カネ」から「ココロ」への回帰運動の展開がますます重要となってきます。かつて、日本人が持っていた当然の心がけ=節約、粗食、勤勉、義理人情、親孝行、近隣同志の支え合い=を味わうことが大事なことと思えます。

即ち、日々の生活においても仕事を終え、子どもも離れた環境のなかで町内の交流に生き甲斐を持つことが、残された人生の生き方として大事なことであり、考えます。

以上、江高連の役割について、所感の一端を述べ、本年も課題はたくさんありますが皆様の先頭に立って努めて参りたいと思えますので、何卒皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

“本年も元気で楽しく励みましょう”

クラブ会員の加入促進について

江別市高齢者クラブ連合会 副会長 鈴木 進
〔緑町あすか会 会長〕

私達のクラブは、昭和51年4月、当時72名の会員でスタートし、30年の歳月が流れたことを反省とともに思い起こして見ますと、先ずは、大過なく活動して来られたように思います。

当時、役員初め会員の大半が60歳代の若い人で占められ、他クラブ同様スポーツ関係の行事を中心に活動して来ました。他に趣味、娯楽、奉仕活動、地域美化活動、研修旅行等が毎年の活動内容でありました。

近年のクラブ活動を見て感ずるのですが、超高齢化の現象により各クラブ共、会員の高齢化で活動の弱体化が目立ち社会問題ともなっていることです。残念ながら高齢者本来のクラブ活動を持続するには最大の課題であろうと思います。

それは65歳後の未加入者が高齢者クラブに理解を示していただけないのが大きな問題だと思います。斬新なクラブ活動には欠かせられない年代だと思います。

入会された一例を紹介しますと友人の誘いで「クラブに入会して良かった」ということです。退職後、家にこもり人前に出るのが得意でない。されど独居老人も考えていたが、クラブを知り入会し広く会員同志の会話等も楽しく旅行や各行事に参加出来、人間が変わった感じすると云われていました。この方は、恐らく新しくクラブに入るには、抵抗があったかと思いますが入って見てその良さを実感し、楽しい時間を過ごされていることは喜ばしい限りであります。

ますます、高齢化が進む中での老人クラブ活動の活性化を図っては避けて通れない現実なものとして捉えていかなければならないと思います。もはや、高齢者世帯が3割に達している状況だけに、若いリーダーの感覚と新会員の相互支援により閉じこもり、孤立などを防ぎ、地域の皆さんに信頼される高齢者でありたいものと願っています。

これからの連合会・単位クラブ活動は、進む高齢(長寿)社会を迎え、今まで以上に長い人生で培った知識と経験に基づく貴重な財産を活かし、誇りある活動であることを自覚し、これを維持発展させ、地域社会に貢献していかなければならないと思います。

そのため、仲間が多ければ多いほど活動する力は大きくなり健康で安らぎのある、楽しく充実した地域社会、日常生活が営まれるものと信じていますので、そうした仲間を増やしていただきたく特段の取組みをお願いいたします。

また、知り得る範囲で自治会組織の中にあるクラブで江高連に入っていないクラブがございましたら事務局から働きかけてみますのでご連絡願います。

いずれにいたしましても、会員の加入促進について未加入者の方々に江高連の事業等を説明していただくなど更に一声かけられ、仲間が増え活気が蘇ることを祈るものです。

江別A地区高連の活動について

江別A地区高齢者クラブ連絡協議会 会長 保 倉 政 信

今年度は、(1)「生きがいと健康づくり」(2)「仲間づくり」(3)「地域活動の充実」を目標に当地区行事を実施しています。

○ 親睦パークゴルフ大会

第1回 平成24年6月15日 南 幌 P G 場 32名参加

第2回 平成24年8月29日 あけぼのP G 場 34名参加

○ ふるさと歴史再発見

今年は、野幌地区11箇所を探訪しました。

- ・日 時 8月25日 美原農村環境改善センター9時出発(福祉バス利用)
- ・参加者 4クラブ 32名
- ・ガイド 江別観光ボランティア 松田勝直さん
- ・見学先

- 1 市役所前庭の記念碑 ～江別開基90年・市制施行15年・北海道100年を記念して建立、碑の不死鳥(不滅の開拓精神と永遠の生命の象徴)と江別100年碑について車窓から説明を聞きました。
- 2 湯川公園の屯田兵屋 ～明治19年に入地した湯川屯田兵一家が住んでいた和式兵屋を修理復原したもので当時の生活用品、農具などを展示しており、大変懐かしかったです。
- 3 野幌屯田兵第二中隊本部(現屯田資料館)、野幌兵村練兵場、野幌兵村開村記念碑～中隊本部は明治17年頃建てられ洋風二階建、屋根は切り妻造、開拓当時のアメリカ風建築手法を用いていると車窓から説明を聞きました。
- 4 天徳寺に祀る屯田の木像さん ～日露戦争戦死者の霊を慰めるため、有志が軍服姿の人形32体を献納、祀られている。会員一同、合掌礼拝してお別れしました。
- 5 史跡千古園 ～開拓の苦労を偲ぶために造られた留魂碑、茶室を備えた市民の憩いの場となっています。

終わりに本事業の企画、運営、ガイドなどに当られた方々に厚くお礼申し上げます。



ふるさと歴史再発見



八幡ひまわり会・八幡自治会女性部花壇

話 題

平成24年度市民憲章推進協議会が主催の「花のある町並みづくりコンテスト」地域花壇の部で、当A地区の「八幡ひまわり会」が最優秀賞、「美原みすず会」が優良賞、「豊栄盛老クラブ」が努力賞をそれぞれ受賞しました。

会員各位のご努力に改めて敬意を表します。

江別B地区高連の活動について

江別B地区高齢者クラブ連絡協議会 会長 櫻田 寛

平成24年度の事業は、会員の皆様からの要望等から、2大事業として「親善パークゴルフ大会」と「演芸のつどい」を実施しました。

1 第12回親善パークゴルフ大会

7月6日(金)午前 あけぼのパークゴルフ場A・B・Cコースの27ホールで会員120名の参加で開催しました。その成績は、次のとおりです。

・男子	・女子
優勝 寒河江 匡(朝日町ほほえみ会)	山口 一恵(早苗クラブ)
準優勝 島田 和幸(上江別拓寿会)	堤 洋子(あけぼのみどりホットクラブ)
3位 千葉 正美(萌えぎ野昂会)	工藤ミヤ子(東光百寿会)
4位 石川 福蔵(東光百寿会)	杉田 昭子(朝日町ほほえみ会)
5位 佐々木政美(あけぼのみどりホットクラブ)	諏訪フミ子(早苗クラブ)

※男子優勝の寒河江匡さんは2連覇。

2 第17回演芸のつどい

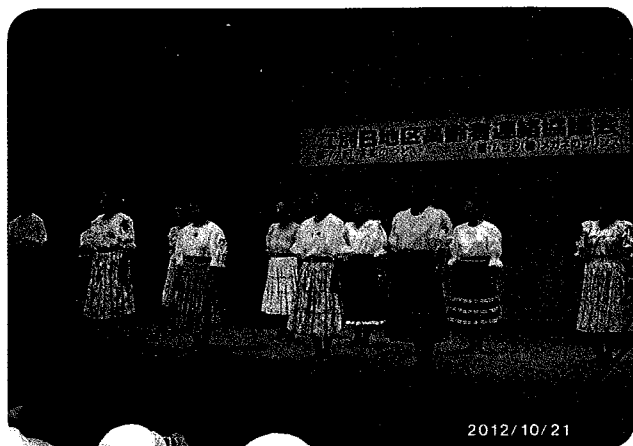
10月21日(日)午前10時 江別市コミュニティセンターで江高連会長を迎え開催しました。

出演別では、舞踊9組23名、社交ダンス2組14名、カラオケ26名の組合せで午後2時10分に終了し、その後、お楽しみ抽選会を行い70名の方にささやかな商品を差し上げ観客382名賑やかに惜しめない声援をもって終えることが出来ました。

3 第41回江別市高齢者クラブ連合会大運動会で「あけぼのみどりホットクラブ」が優勝し、同クラブは、昭和61年の設立で会員77名の皆さんの協調は大変強く、演芸のつどいには20名余りの会員がコーラスで出演していました

今回の大運動会には会員相互が声を掛け合い声援を送り、昨年4位の成績の向上を目指しての優勝でありました。大会締めの方歳三唱は、同クラブ監督の鎌田敬三郎さんが行い「選手が集まっての練習は1回のみで本番に臨んだが、みんなの団結力が結果に現れたものです」と冷静に優勝を喜んでいました。おめでとうございます。

また、当地区高連から上江別拓寿会が4位、早苗クラブが6位、豊幌豊寿会が9位の成績を収め、来年も共に優勝を目指して頑張りたいものです。



B地区演芸のつどい



大運動会団体優勝の「あけぼのみどりほっとクラブ」チーム

江別C地区高連の活動について

江別C地区高齢者クラブ連絡協議会 会長 東海林 正 明

今年度、当地区のクラブ数13は、前年と同じでしたが会員数が32名減の855名でスタートしました。5月上旬に総会開催、昨年に続き、日帰りの会員親睦旅行とパークゴルフ大会の2つを交流行事として計画しました。

パークゴルフ大会は第10回目、会員親睦旅行は第8回目となるものでした。

しかし、8月10日開催のパークゴルフ大会は、前日からのあいにくの雨と当日の集中豪雨で一時中断し、残念ながら結局中止となってしまいました。

会員の親睦旅行は、8月30日7クラブ、76名が参加し、北空知の「グリーンパークしんとつかわ」への日帰り旅行でした。カラオケ、ビンゴゲームなどを楽しみながら参加者の親睦、交流が図られ、行事の開催目的を達成することができました。

トピックス

次に、C地区所属クラブの中で東日本大震災後、岩手県陸前高田市の被災小学校児童に励ましの『押し花しおりの作成と贈呈』の活動をされている緑町福寿会(会長斉藤安正さん)の取組みについてお知らせします。

平成14年頃から女性会員がクラブ活動として行っていた小物づくりが「手芸友の会」の設立につながり、今回の『押し花しおりづくり』が容易に取組めたものと思います。押し花づくりの技と震災被災者への会員の励ましの熱意が結集し、平成23年度の春に活動が開始されました。

そして、贈呈先の陸前高田市気仙小、高田小とのコンタクトには、江別第三小学校と同PTAが担い、また、作品づくりの作業面や資材面では、第三小母の会を初め、緑町第一自治会、江別製粉(株)、江別シルバークラブ喜楽会、江別清風クラブ、緑町あすか会、江別市女性協など多数の方々のご支援、ご協力をいただきながら目標の1000枚作成を目指し、10月初旬に1,011枚を届けることができました。

11月には、被災地児童から感謝のメッセージをいただきました。

この活動を振返って斉藤会長は、中心になって担った緑町福寿会会員の「自覚とやる気」を醸成、地域を元気にする源となったと述べられています。

なお、平成24年度も規模は縮小しましたが継続し活動しております。



江別第3小5・6年生との共同製作



押し花しおり作品

野幌地区高連の活動について

野幌地区高齢者クラブ連絡協議会 会長 阿 部 実

1 主な活動

(1)パークゴルフ大会（同好会）	昭和の森	6、8、9月
(2)演芸の集い	野幌公民館	7月
(3)親睦グリーンボール大会	錦町公園コート	8月
(4)研修旅行（1泊2日）	十勝川温泉	9月
(5)新春の集い	野幌公民館	1月
(6)会員研修会	野幌公民館	2月

2 活動状況の内容

(1)パークゴルフ同好会

各クラブの活動状況の中で「パークゴルフ」が、年々愛好者が増加し、会としても事業として取組む時代になったと判断し、平成22年より同好会としてスタートしました。初年度から数回の大会を実施して順調に会員に楽しんでもらえる様な同好会になりました。24年度も3回の親睦大会を実施して多くの会員が参加し感謝されながら1年を終えました。

(2)演芸の集い

- ・期日・会場 平成24年7月20日(金) 野幌公民館
- ・種 目 舞踊(12) カラオケ(44) 民謡(1) 詩吟(3) 輪踊り(1)
器楽演奏(1) 総出演数(62)
- ・入 場 者 約400名以上の会員が参加して、会場が熱気に包まれ最後まで熱心に観覧してもらいました。

(3)会員研修旅行

- ・期 日 平成24年9月18日(火)～19日(水)
- ・行き先 十勝川温泉 笹井ホテル
- ・内 容 参加者数37名、待望の十勝方面の研修旅行に参加者は楽しい夢を抱きながら夕張、日高、占冠、帯広に入り十勝川温泉で宴会も盛り上がり数年ぶりに楽しい研修旅行でした。



野幌地区高連演芸の集い



会員の研修旅行

大麻地区高連の活動について

大麻地区高齢者クラブ連絡協議会 会長 須田 要 一

・地区高連協組織の運営について

単位クラブと違い、連合体だからこそ申合わせ事項の徹底やグループの結束が必要です。このような弊害を少なくするための方策として、次のようなローテーションを組み実践することにしました。定着を目指し頑張ります。

1 ブロック分け

- ・中央ブロック ⇒ 沢町16丁目長生クラブ、大麻ひまわりクラブ、東大麻クラブ
- ・東ブロック ⇒ 大麻第二住区睦会、悠友クラブ、大麻新町クラブ
- ・西ブロック ⇒ 大麻西町健睦クラブ、大麻扇町クラブ、文教クラブ

2 役員の年度別分担表

役職名	平19～21	平22～23	平24～25	備 考
会 長	中央ブロック	東ブロック	西ブロック	他クラブの役員改選との整合性を考慮して平成19年度から21年度は、特例として任期3年とする。 一巡後は、元へ戻る。
副会長	東ブロック	西ブロック	中央ブロック	
副会長	西ブロック	中央ブロック	東ブロック	
事務局長	中央ブロック	東ブロック	西ブロック	
会 計	中央ブロック	東ブロック	西ブロック	
監 事	東ブロック	西ブロック	中央ブロック	
監 事	西ブロック	中央ブロック	東ブロック	

※この内規は、平成19年4月28日から施行する。

・文教クラブの活動報告

<民生委員の4人が仲間になりました>

今年のクラブ入会者の中に4名もの民生委員が加わりました。会員との積極的な交流の中で会の雰囲気が明るく楽しくなりました。

先日の例会では「私の話」に早速登場していただき、区内の委員名とそれぞれの分担を紹介しながら『老人福祉法』に触れた有益な話をしてもらい感銘を受けました。

地域住民の保護指導を目的とする民生委員と「健康」「友愛」「奉仕」を活動の基底とする高齢者クラブとは若干の違いこそあれ、根っこでしっかり繋がった共同体であることを強く理解しました。

今後、更に連携を深め一体となった組織実現のために活動を深めたい。

<フィトンチッドを浴びよう>

石狩平野を見渡す丘陵地に浮かぶ原始林は文京台のシンボルです。健康や学術面からの価値が高く、土、日曜日になると大沢口の駐車場には市内外の車がひしめき、人気の高さが伺われます。

これは、都市近郊というだけでなく木々が外敵から身を守るために出すフィトンチッドと呼ばれる微粒子を浴びるために訪れているのです。私達クラブも個々に散策やウォーキングを楽しむ人は勿論、クラブの行事としても森林浴を目的とした各自の体力に応じたものであり、あくまでも自然体で若さあふれる心づくりを目的に実施しています。

友愛活動（一人暮らしの仲間への絵便りづくり、ご縁募金など）の推進について

江別市高齢者クラブ連合会 副会長・女性部長 大谷 洋子

私達女性部は、年々進む超高齢社会に対応し少しでも楽しく明るいクラブづくりを目指し、組織の特性である「自主性」「地域性」「共同性」をモットーに江高連のアシスタントとして積極的に協力するために活動しています。

特に、女性の特性を発揮し友愛活動には力を入れています。

市内にある高齢者福祉施設に入所の仲間の誕生日に合せ、暮らしを励ます絵便りを作成し届けています。このため、友愛活動員(現在会員数26名随時受付中)を募り、毎月1回(原則第3水曜日)福祉センターの和室で“絵便りづくり”の活動を行っております。平成24年度では、およそ350名の方々へ届けています。

また、平成8年度から会員の浄財を募る「ご縁募金」活動を中心となって取組んでいる外、公共施設へのタオル寄贈、江別ふれあい福祉の広場への協力や江高連の大運動会、演芸大会への手伝いなど脇役としての役割を発揮しています。

今後も充実した女性部をつくり上げ、その可能性に自ら期待しているところです。

なお、毎月の“絵便りづくり”の友愛活動には、各自の趣味等を活かし、現在3名の男性会員も頑張っております。どうぞ、男女を問わずご協力していただける方は、会員一同お待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。



友愛活動員の絵便り作品



絵便りづくりに励む友愛活動員

平成25年度事業の計画について

江別市高齢者クラブ連合会 事務局長 星 忠 雄

私は、昨年4月からお世話になって早いもので1年が経とうとしています。この間会長さん初め、役員並びに会員さんから心温まるご指導を賜り、また親しく接して頂き誠にありがとうございます。

この間、「女性のつどい」「大運動会」「演芸大会」「親睦研修旅行」「体力測定会」「新年交礼会」「単位クラブリーダー研修会」等々の事業を右も左も判らない中で進めて来たことから、大変ご迷惑をおかけしたかと思いますが、皆様のご協力を得て無事終われることに感謝申し上げます。

さて、平成25年度の事業であります。昨年度の反省を踏まえて基本的に会員が健康で楽しく活動できることに心がけて事業を計画して参りたいと存じます。

基本的に平成24年度の事業と同じであります。新たな事業について紹介します。これらはあくまでも総会で決定するものであり、従って現在、事務局で検討しているものであることをご理解いただきたいと存じます。

1 石狩管内小ブロック研修会を8月頃に江別市で開催します。

この研修会は、例年、石狩管内の5市1町が持ち回りで開催しているもので、平成25年度は江別が当番となり行うものであります。

2 パークゴルフ大会を10月頃に開催します。

この事業は、江別管工事業協同組合から高齢者の健康維持増進事業の一環として協賛を得て実施するものであります。この協賛金を地区高連のパークゴルフ事業とも合わせて有効に活用したいと考えております。

3 連合会創立50周年記念事業実行委員会を設立します。

平成26年度が創立50周年となりますが、記念誌発行事業等に時間を要することから平成25年度中に実行委員会を設立しようとするものです。

このほか、大運動会の競技種目の見直し、健康優良者表彰基準の見直し、親睦研修旅行の時期変更(11月頃実施)、年賀状印刷事業などを実情に即して行いたいと考えています。

こうした事業を推進していくには、何といたっても会員の方々のご理解とご支援、ご協力が不可欠でありますので、よろしくお願い申し上げます。



24年6月20日第1回理事会



平成25年新年交礼会

〈平成24年度江高連行事スナップと絵便り作品より〉



平成24年度総会から



ご縁募金20万円寄付で購入した車椅子と歩行器



女性のつどい 参加者全員で踊りの講習



大運動会スプーンレースの1コマ



第40回演芸大会で熱演の女性部員



第28回ゲートボール大会での熱戦



東大麻クラブ 島貫ツナさんの絵便り作品



女性部の友愛活動員等合同忘年会より



道老連の功績表彰を受ける森田正夫前会長



しらかば親和会 増子良子さんの絵便り作品

〈編集後記〉

例年どおりの寒冷と除雪にご苦労された冬が漸く終わり、春の気配を感じる3月となりました。雪解けとともに会員の皆様には、ますます元気でクラブ活動に参加することを祈念します。

当市も例外にもれず高齢化が一段と進む中で魅力あるクラブ運営が難しくなって来ていることは、皆さんもお感じでしょうか。

もう一度、各会長さんを中心に地域の仲間と結束し、クラブ活動を通じて地域の連帯感を醸成するため頑張りましょう!!

ここに、江高連の1年の活動状況等をお知らせする情報誌「れんたい」第47号をお届けします。ご感想を寄せていただければ幸いです。

(事務局 密山)